

上一色小学校応援団実践報告書

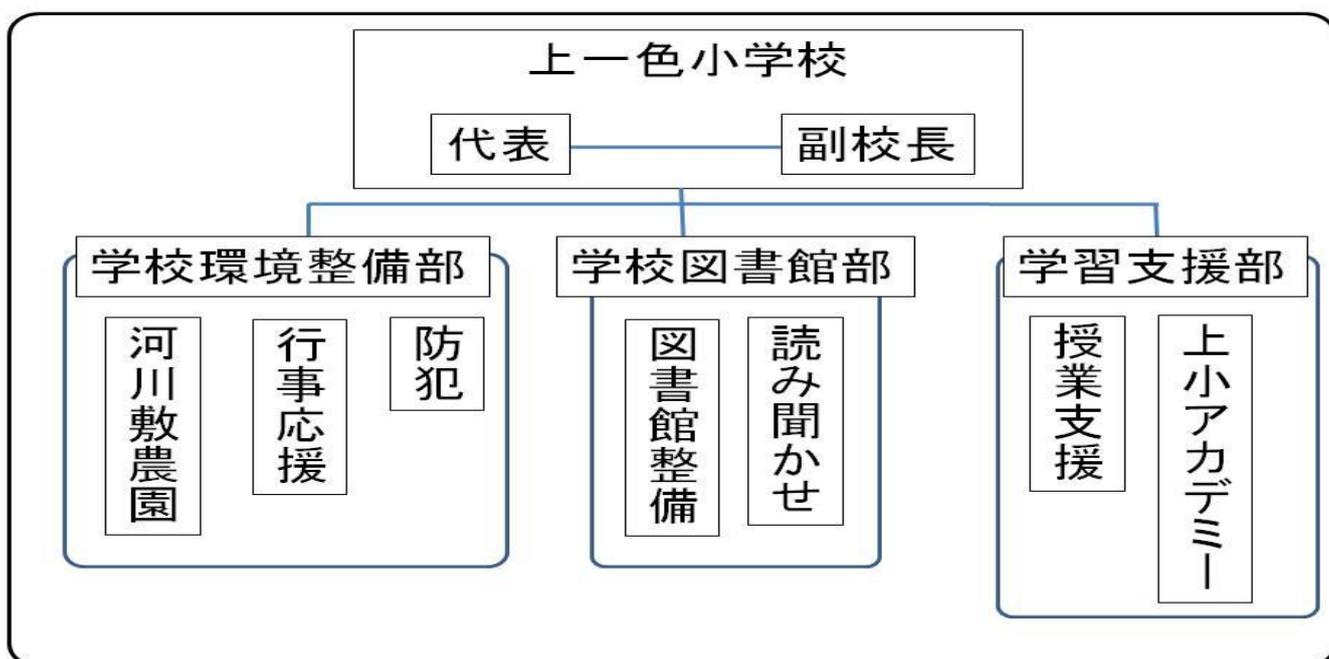
1 校長及び代表者氏名

上一色小学校長 鈴木 孝 一
代 表 藤 岡 忠 之

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
環境整備部	河川敷学習農園 旗振り・交通見守り 防犯 行事応援 英語版ホームページ	○河川敷農園活動での技術指導の支援・水やり・草取り。 ○登校時の安全見守り、通学路で登校の安全見守り。 ○月1回の安全安心パトロールのお手伝い。 ○運動会準備のテント設営・撤収 等。 ○上一色小学校 OBの方を中心に、保護者・地域目線で学校を紹介。
学校図書館部	読み聞かせ 図書室整備	○学級に入って読み聞かせ。 ○本の修理や整頓・お勧めの本の紹介。
学習支援部	家庭科学習支援 図工科学習支援 体育実技支援 上小アカデミー	○ミシン・調理など安全を見守り技術指導の支援。 ○彫刻刀・糸鋸など安全を見守り技術指導の支援。 ○体育大会に向けて安全を見守り技術指導の支援。 ○放課後学習の指導支援

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ① 2年目となり、昨年度より内容や規模を絞って活動することができた。
- ② 学校図書館部では、少人数ながら読み聞かせや整備など年間を通して活動できた。読み聞かせは、担当で連絡を取ったり記録を残したりして、内容が重ならないように工夫できた。児童も、読み聞かせを大変楽しみに、図書室の分類表示を児童が進んで作成することもできた。本に親しむ/大切にする児童が増えた。
- ③ 学習支援部では、高学年の実技授業を中心に、専科と担任が連携して保護者に呼びかけて取り組むことができた。また、地域や外部指導者を招いての授業も展開でき、小規模で担任だけに偏らない学習指導ができた。

<課題>

- ① 河川敷農園活動は、地域の『新中川環境を良くする会』と協働で行っているが、頼りすぎる面があった。学校として活動内容を計画し、児童や教職員が常時活動できる体制づくりと応援体制の整備が早急に必要である。
- ② 現在2階の図書室は、物語や伝記などの読み物教材が中心で、3階多目的室、は図鑑や事典などの調べ学習教材が中心となって分かれている。図書室としての機能を考えると、一部屋に統合してより学習効率の良い図書館づくりを考えていきたい。
- ③ 戦争体験話や昔遊び、茶道や華道、習字・書き初め・そろばんなどの学習支援ボランティアを、事前登録して活用するなど地域の人材発掘や交流を行って、開かれた授業を計画的に実践していきたい。

5 代表より

本校の学校応援団は、皆様のご協力の下、今年も色々な活動ができました。本当にありがとうございました。上小アカデミー・読み聞かせ・防犯見守り等、地域社会の温かさを感じます。そして本校の特色でもある河川敷農園活動では、花を育てる大変さ・喜びを、また生物とのふれあいを通じ、生命の大切さ・優しい気持ちを、学んでもらいたいと思います。

保護者・学校・地域の方々が、ひとつになり、子ども達の安全・成長を見守り、健全に育ていけるよう、今後ともご協力よろしく願いいたします。 (藤岡 忠之)

6 学校長より

今年度より江戸川区では『読書科』が始まり、子どもたちにもっと本に親しんでもらおうとする取り組みが始まりました。これまで同様、朝の読み聞かせの他に、今年は特に図書室の蔵書の整理でご協力を頂きました。おかげで、子どもたちにとって使いやすい図書室の環境が整いました。

また、本校の特色ある取り組みでもある河川敷学習園活動では、多くの地域の方々のご協力で、四季折々の花を育てることができました。そのほかにも、上小アカデミーや安全安心パトロールなど、多岐にわたってお世話になりました。これからも、保護者や地域の皆様と共に、子どもたちの健やかな成長を見守っていただける学校応援団であり続けたいと願っています。一年間ご協力ありがとうございました。 (鈴木 孝一)